



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社 ホウスイ

上場取引所 東

コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 昌明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 小林 留一

TEL 03-3543-3536

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,862	22.7	184	166.0	230	74.0	97	41.1
23年3月期第2四半期	16,996	△5.1	69	△40.3	132	△21.3	69	△25.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 120百万円 (52.6%) 23年3月期第2四半期 78百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.17	—
23年3月期第2四半期	0.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	12,700	5,362	40.6	61.54
23年3月期	12,534	5,414	41.7	62.38

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,153百万円 23年3月期 5,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	16.7	340	131.6	430	70.9	240	94.7	2.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	83,790,000 株	23年3月期	83,790,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	41,550 株	23年3月期	40,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	83,748,719 株	23年3月期2Q	83,750,158 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている実績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による国内企業生産の大幅な減少等から着実に回復しつつありますが、欧米経済の景気後退懸念や急激な円高の定着等により、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、震災の影響から、個人消費の面でより一層生活防衛意識が高まり、消費者の節約志向が続く厳しい経営環境にありました。

このような厳しい状況のなかで、当社グループは、顧客ニーズへの迅速な対応や、冷蔵保管機能、水産卸機能やリテールサポート機能を相互に融合して協働させることにより、収益の確保に努めて参りました。その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高208億62百万円（前年同期比38億66百万円増）、営業利益1億84百万円（前年同期比1億15百万円増）、経常利益2億30百万円（前年同期比97百万円増）、四半期純利益は97百万円（前年同期比28百万円増）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、豊海第三冷蔵庫の超低温庫およびチルド庫が稼働したことによる庫腹の増加、さらに在庫量の増加に伴う保管料収入が増加したこと等により売上高は20億17百万円（前年同期比2億6百万円増）となり、営業利益は83百万円（前年同期比47百万円増）になりました。

② 水産物卸売事業セグメント

水産物卸売事業セグメントは、水産食材卸売部門の取扱数量が減少しましたが、主要商材のエビ、カニなどの販売単価がアップしたこと、また、リテールサポート部門の既存顧客の店舗数拡大や新規顧客の獲得などもあり、売上高は188億45百万円（前年同期比36億60百万円増）となりました。売上総利益率は前年同期と比べると若干低下したものの、売上高の拡大による売上総利益増大により営業利益は1億1百万円（前年同期比79百万円増）になりました。

セグメントの業績の詳細については、「4. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報等」をご参照下さい。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(a) 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比1億66百万円増加し、127億円となりました。

流動資産は、たな卸資産の増加等により前期末比69百万円増加の52億53百万円となりました。

固定資産については、冷蔵倉庫事業セグメントの設備投資により、前期末比96百万円増加し、74億47百万円となりました。

(b) 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比2億17百万円増加し、73億37百万円となりました。

流動負債は、関係会社短期借入金の増加等により、前期末比3億82百万円増加の52億69百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の返済等により、前期末比1億64百万円減少し、20億67百万円となりました。

(c) 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、第2四半期累計期間純利益が97百万円となったものの、株主配当金の支払1億67百万円等により前期末比51百万円減少の53億62百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、6億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億74千百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は85百万円（前年同期は1億51百万円の使用）となりました。これは主にたな卸資産の増加、仕入債務の減少等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億2百万円（前年同期は5億7百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得や維持更新によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は1億13百万円（前年同期は2億38百万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の増加による収入があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表しました通期の連結業績予想数値につきましては、本日（平成23年10月31日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正致しました。当該業績予想の修正の詳細につきましては本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却の方法

連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定しております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものから変動がないと認められるため、前連結会計年度において用いた一般債権の貸倒実績率を使用しております。

③ 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340	184
受取手形及び売掛金	2,815	2,948
商品及び製品	1,152	1,407
原材料及び貯蔵品	11	10
関係会社預け金	635	467
繰延税金資産	130	130
その他	113	120
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	5,183	5,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,077	11,363
減価償却累計額	△6,525	△6,710
建物及び構築物(純額)	4,551	4,653
機械装置及び運搬具	2,874	2,964
減価償却累計額	△1,997	△2,089
機械装置及び運搬具(純額)	877	874
工具、器具及び備品	227	238
減価償却累計額	△164	△175
工具、器具及び備品(純額)	62	62
リース資産	213	273
減価償却累計額	△71	△97
リース資産(純額)	141	176
土地	1,166	1,166
建設仮勘定	40	1
有形固定資産合計	6,839	6,934
無形固定資産		
投資その他の資産	168	169
投資有価証券	81	80
長期貸付金	7	6
繰延税金資産	117	118
その他	136	137
投資その他の資産合計	342	343
固定資産合計	7,350	7,447
資産合計	12,534	12,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,968	2,765
1年内返済予定の長期借入金	309	272
1年内返済予定の関係会社長期借入金	130	130
関係会社短期借入金	760	1,300
リース債務	42	52
未払法人税等	53	115
賞与引当金	72	86
役員賞与引当金	8	—
その他	541	547
流動負債合計	4,887	5,269
固定負債		
長期借入金	487	358
関係会社長期借入金	249	184
退職給付引当金	886	892
役員退職慰労引当金	99	116
本社移転損失引当金	147	147
長期預り保証金	6	6
負ののれん	256	238
リース債務	99	123
固定負債合計	2,232	2,067
負債合計	7,120	7,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,222	1,222
利益剰余金	1,517	1,447
自己株式	△1	△1
株主資本合計	5,223	5,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
少数株主持分	190	209
純資産合計	5,414	5,362
負債純資産合計	12,534	12,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,996	20,862
売上原価	15,510	19,154
売上総利益	1,486	1,708
販売費及び一般管理費	1,416	1,523
営業利益	69	184
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	18	18
雑収入	57	38
営業外収益合計	77	59
営業外費用		
支払利息	12	14
雑支出	1	0
営業外費用合計	14	14
経常利益	132	230
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
前期損益修正損	7	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	127	229
法人税等	47	109
少数株主損益調整前四半期純利益	80	120
少数株主利益	11	22
四半期純利益	69	97

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	80	120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
その他の包括利益合計	△1	△0
四半期包括利益	78	120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67	97
少数株主に係る四半期包括利益	11	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	127	229
減価償却費	273	322
有形固定資産除却損	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8	6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14	13
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△8
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	12	14
負ののれん償却額	△18	△18
売上債権の増減額 (△は増加)	98	△132
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△299	△253
仕入債務の増減額 (△は減少)	△221	△203
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6	△45
未収消費税等の増減額 (△は増加)	20	—
その他	△118	△63
小計	△105	△124
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△10	△10
法人税等の支払額	△36	47
営業活動によるキャッシュ・フロー	△151	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社預け金の増減額 (△は増加)	200	150
有形固定資産の取得による支出	△716	△350
無形固定資産の取得による支出	—	△5
長期貸付金の回収による収入	0	0
短期貸付金の回収による収入	10	0
差入保証金の差入による支出	—	△4
差入保証金の回収による収入	—	2
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
預り保証金の返還による支出	△3	△1
預り保証金の受入による収入	1	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△507	△202

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	850	1,250
短期借入金の返済による支出	△200	△710
長期借入金の返済による支出	△232	△231
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△167	△167
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	238	113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△420	△174
現金及び現金同等物の期首残高	824	816
現金及び現金同等物の四半期末残高	404	642

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,811	15,185	16,996	-	16,996
セグメント間の内部売上高又は振替高	30	9	40	△40	-
計	1,842	15,194	17,036	△40	16,996
セグメント利益	35	21	57	12	69

(注) 1. セグメント利益の調整額の内訳は、セグメント間取引消去11百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用の額0百万円である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産物卸売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,017	18,845	20,862	-	20,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	43	9	52	△52	-
計	2,060	18,854	20,915	△52	20,862
セグメント利益	83	101	184	-	184

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。